

# 大洲市民文化会館 基本設計概要

大洲市  
株式会社佐藤総合計画

# 大洲市民文化会館 新築工事 基本設計 概要

## 1. 基本方針(コンセプト)

伊予の小京都と呼ばれる大洲の城下町は、その歴史の面影の中に現代性が織り交ぜられ、大洲らしさのある「まちの賑わい」が広がっています。この大洲らしさを引き継ぎ、「大屋根」の下に市民みんなの居場所をつなぐ「おおず回廊」をつくります。

「おおず回廊」は活気に満ちた市民活動が賑わいとなって現れる城下のまちなみのような空間になります。

その賑わいは大屋根の軒下から周辺に広がり、市民活動があふれる大洲のまちづくりにつながります。

今後ますます多様化・高度化する市民の文化芸術活動に柔軟かつ的確に対応でき、市民の日常的な交流や文化情報発信など、「文化芸術と市民交流」拠点施設の整備を進めるとともに、脱炭素社会の実現に向け、環境負荷の大きい公共建築物のライフサイクルコストの縮減のため、施設のZEB化(ZEB Ready)※の認証取得を目指しています。

※ ZEBは標準的な建築物と比べて一次エネルギーの年間消費量が大幅に削減されている建築物のことを指します。

ZEB Readyは一次エネルギー年間消費量を50%以上削減するものです。

## 2. 建築概要等

敷地面積: 16,780.83m<sup>2</sup> 建築面積: 約3,500m<sup>2</sup> 最高高さ: 約28.6m 構造: 鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造、木造)

延床面積: 約4,870m<sup>2</sup> 最高軒高さ: 約26.2m 駐車台数: 約300台 階数: 地上4階

※今後の実施設計等協議により、諸室の名称や配置及び面積や高さ、その他関係する内容は変わることがあります。

## 3. 事業スケジュール

基本設計: 令和5年4月～令和6年2月

工事期間: 令和8年度～令和10年度

実施設計: 令和6年3月～令和7年3月

オープン: 令和11年度

※ウォークスルー(CG)動画は市HPをご覧ください。





## 外観

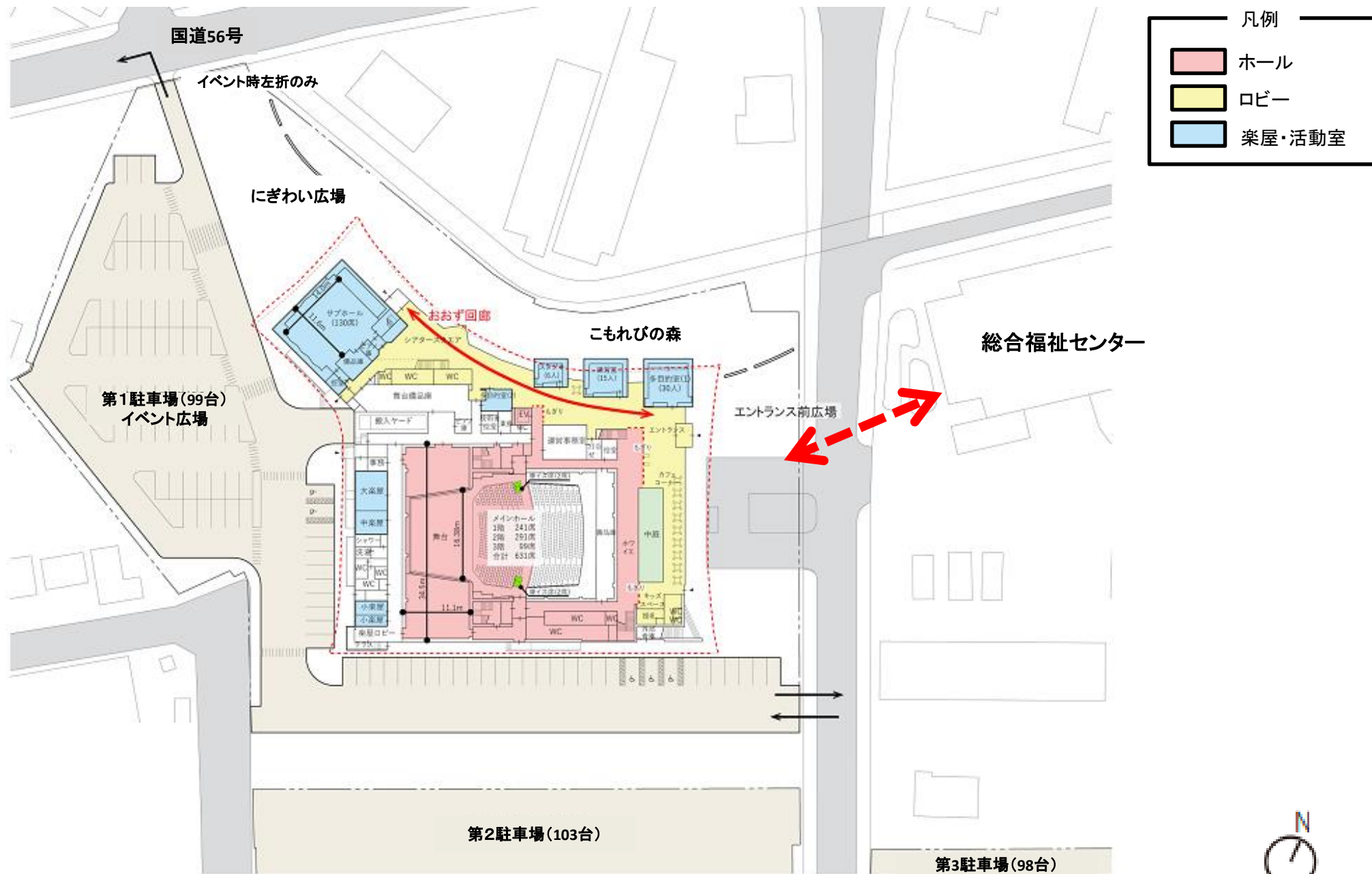
ホールとそのまわりの屋根のシンプルな構成



## エントランス前広場

屋根には軒下空間ができる。軒下から活動の姿があふれだす

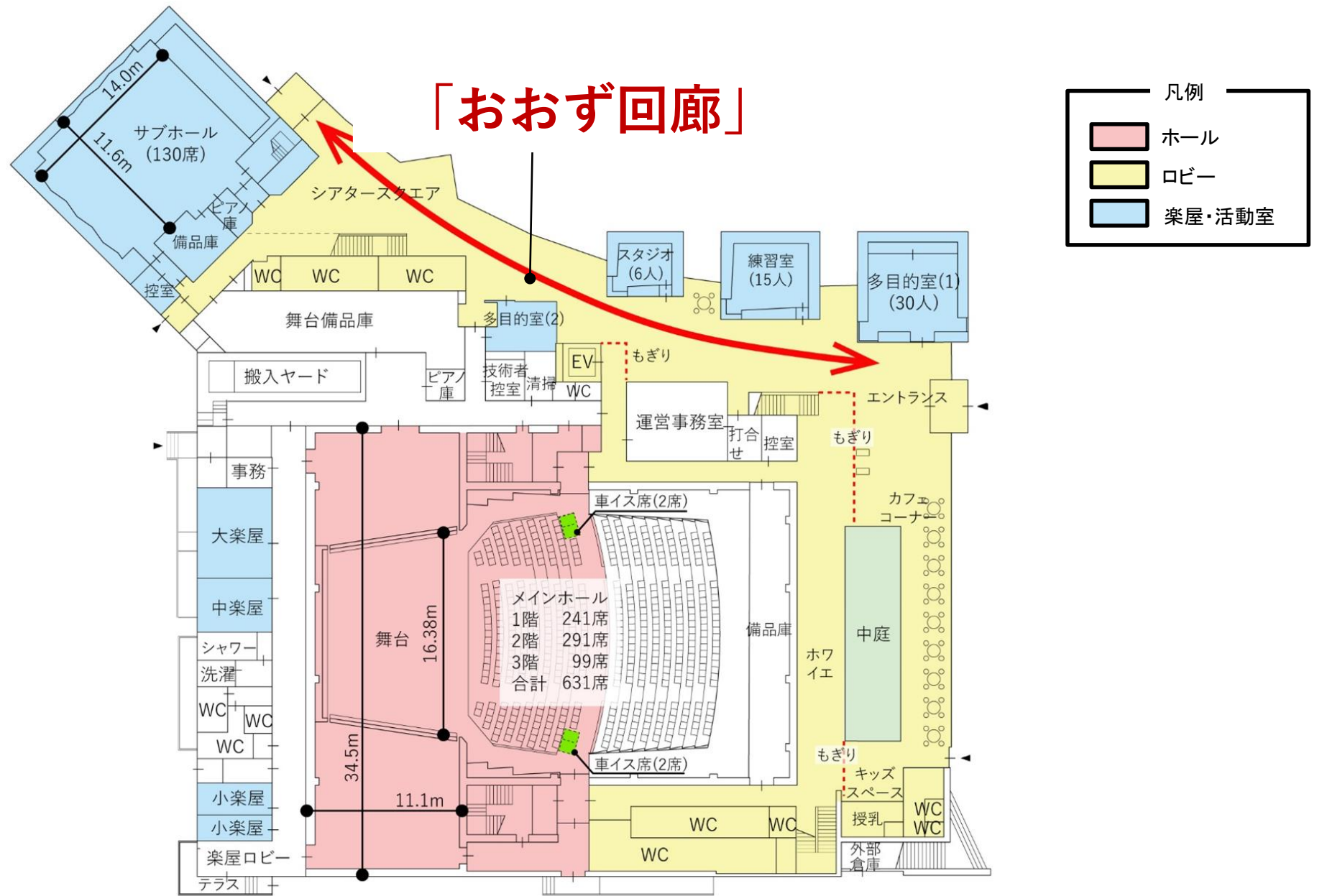
# 配置



福祉センターと向かい合う

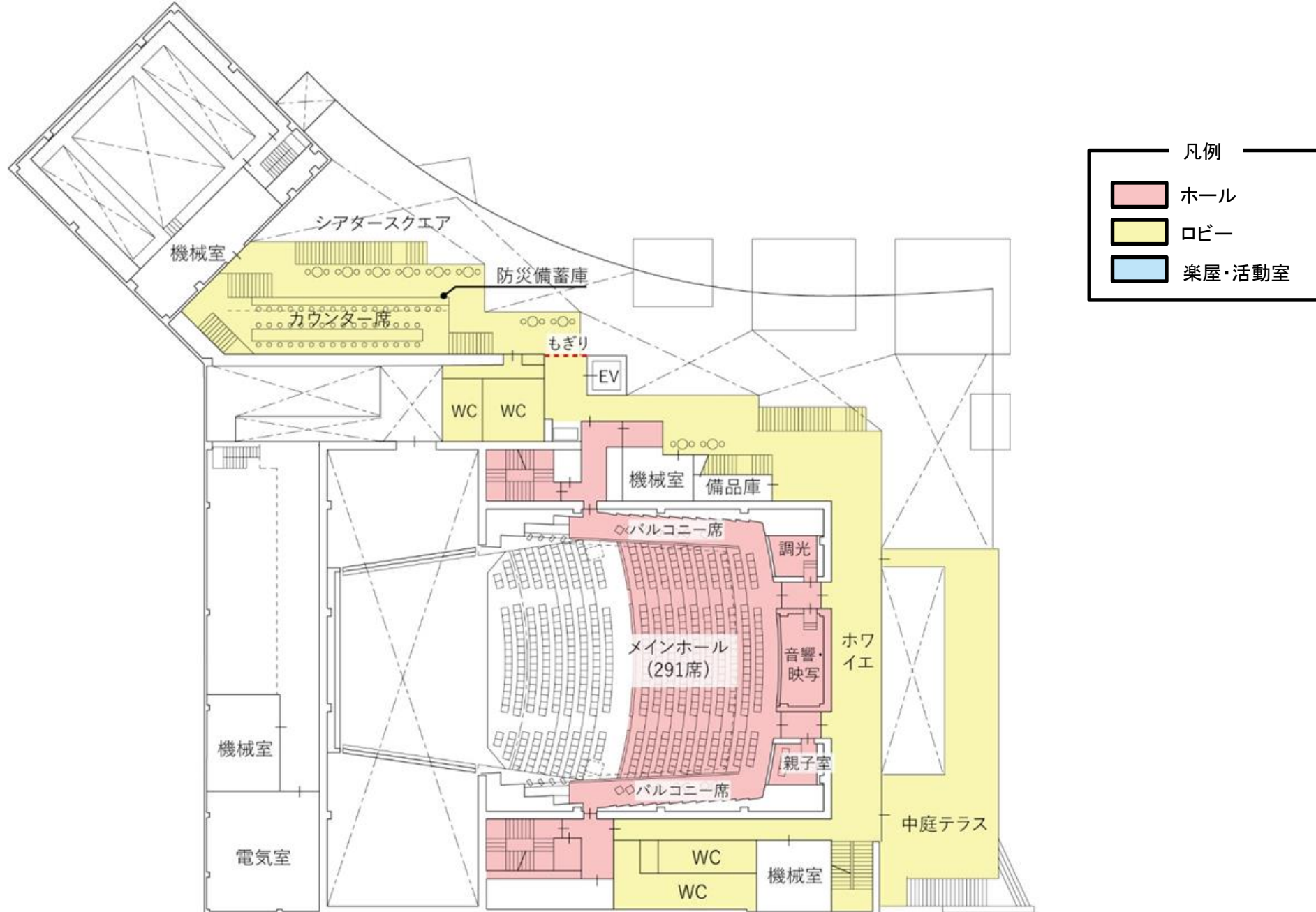


# 1階平面



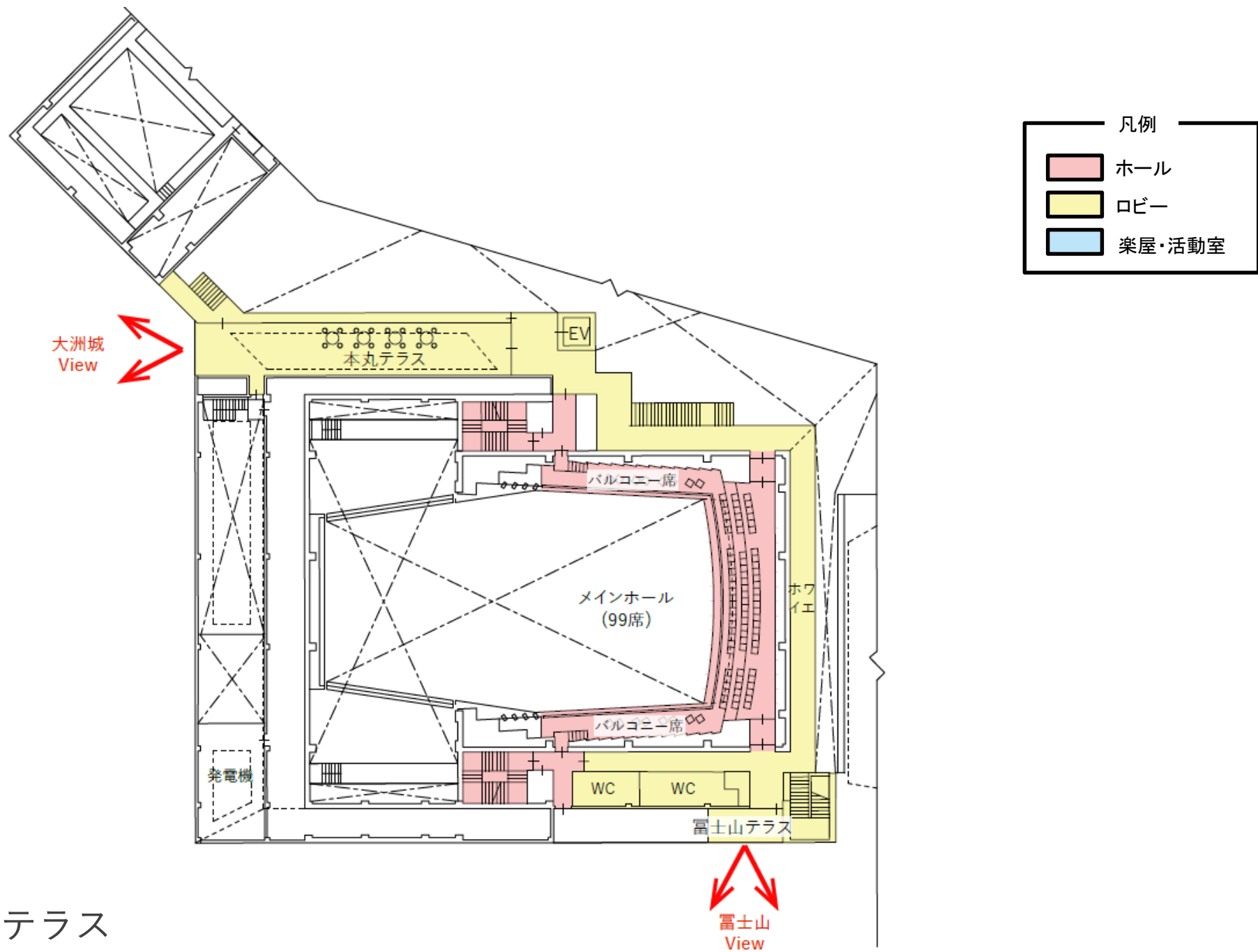
建物規模を抑え、機能的な平面計画。「おおず回廊」で福祉センター側から国道側までつなぐ

# 2階平面



2階はホールのホワイエやテラススペース

# 3階平面



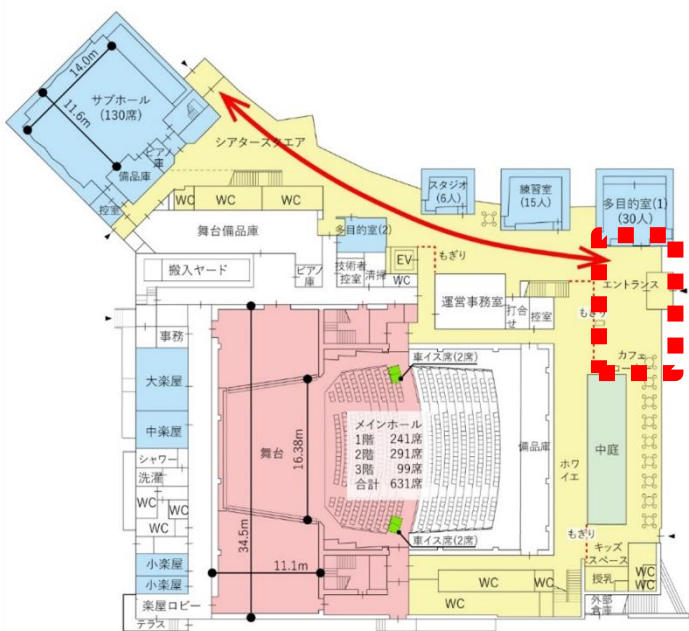
3階もホワイエとテラス



# エントランス

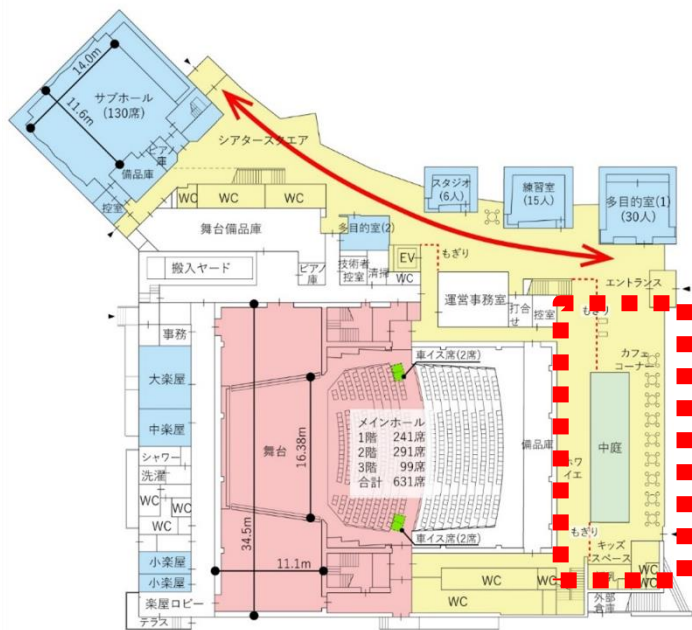


「おおず回廊」



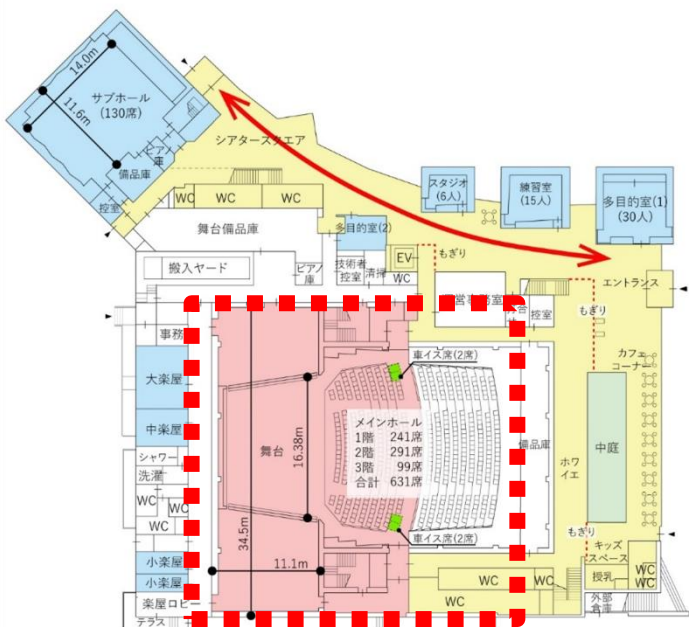
奥へ向かって歩いて行ける内部空間「おおず回廊」。大洲城下のように  
出会いと発見の場

# 中庭



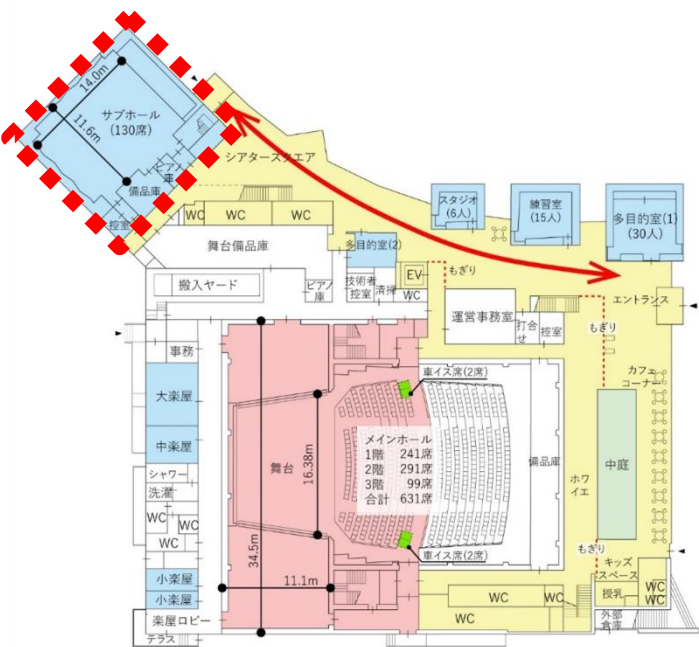
おおず回廊にそった中庭・カフェコーナー

# メインホール



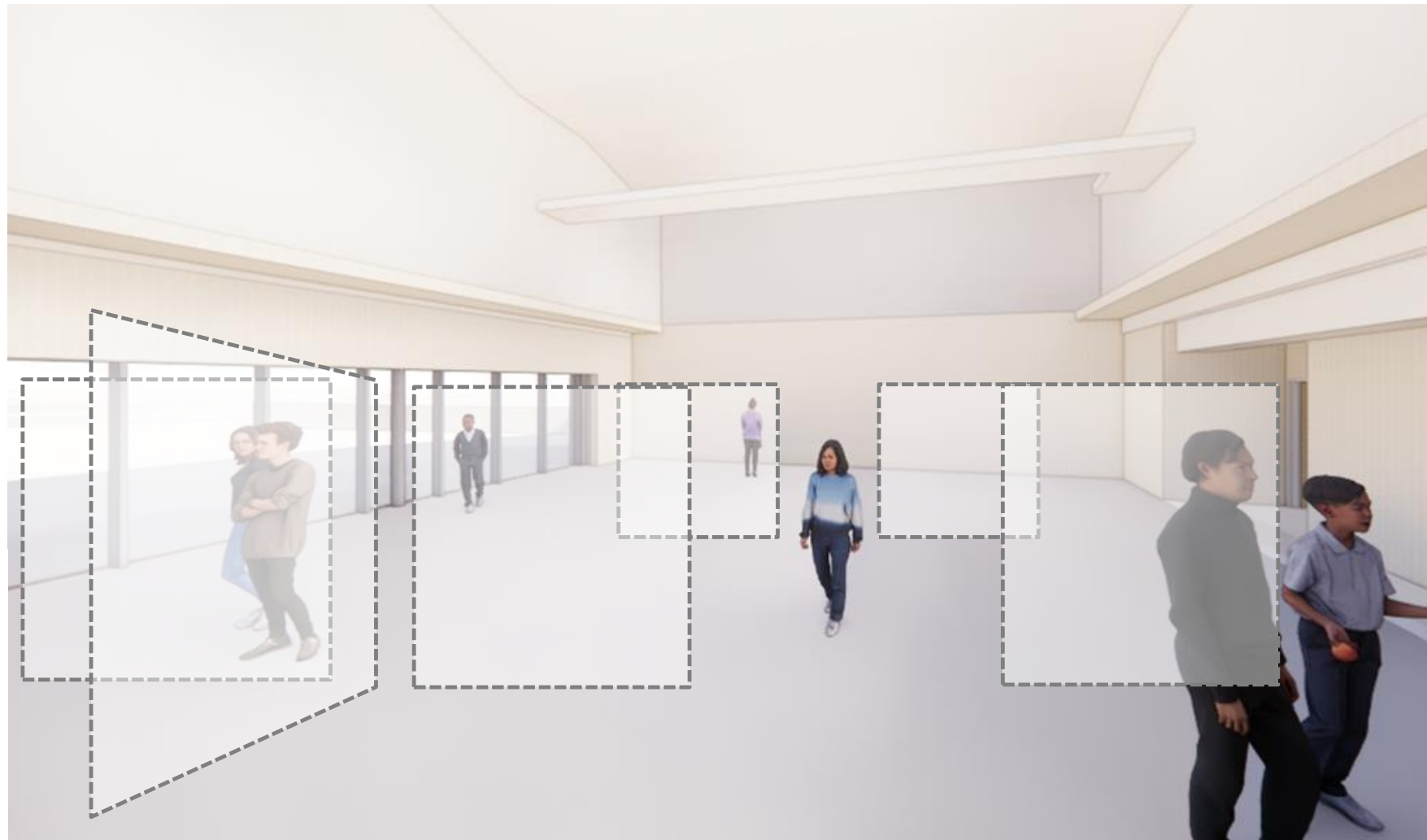
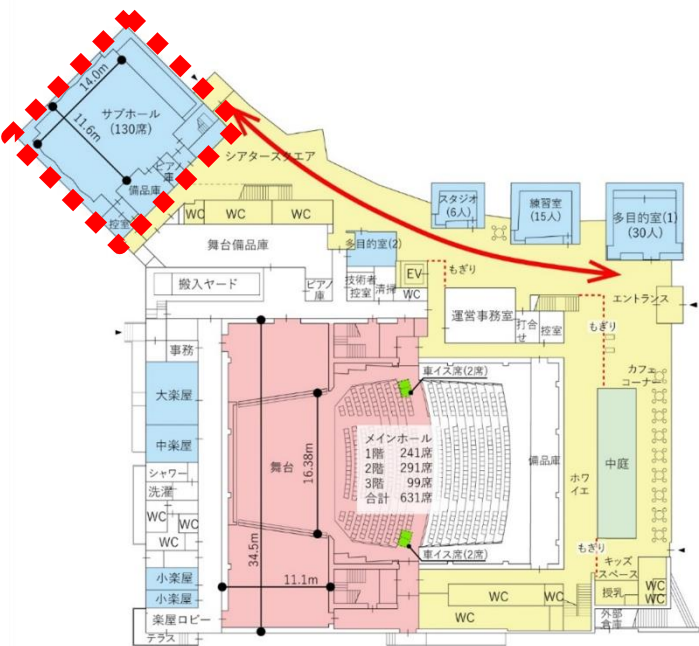
質の高い芸術文化に触れる場（客席数：約630席）

# サブホール



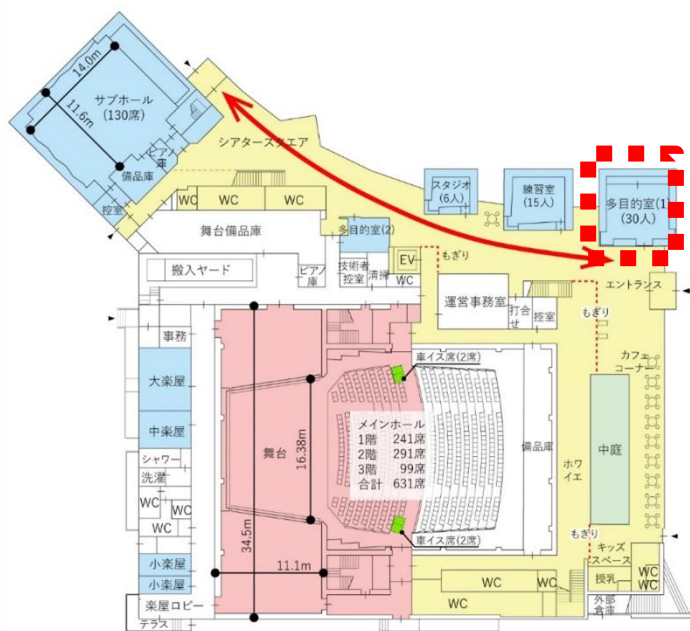
段床のある発表の場（椅子席の場合：約130席）

# サブホール

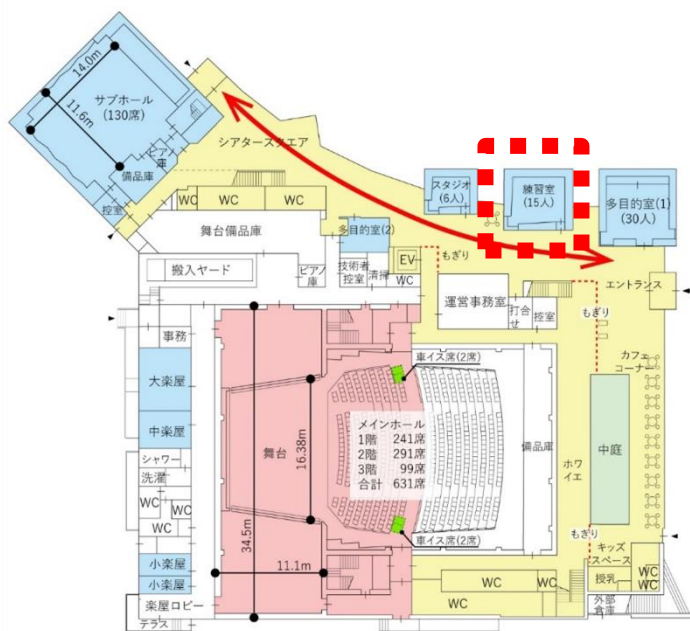


フラットになり多目的な利用が可能

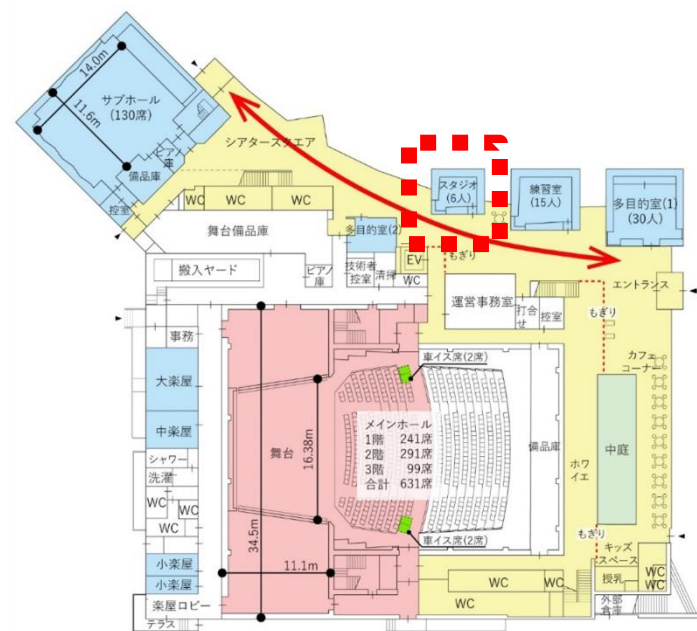
# 活動室 (多目的室1)



# 活動室 (練習室)

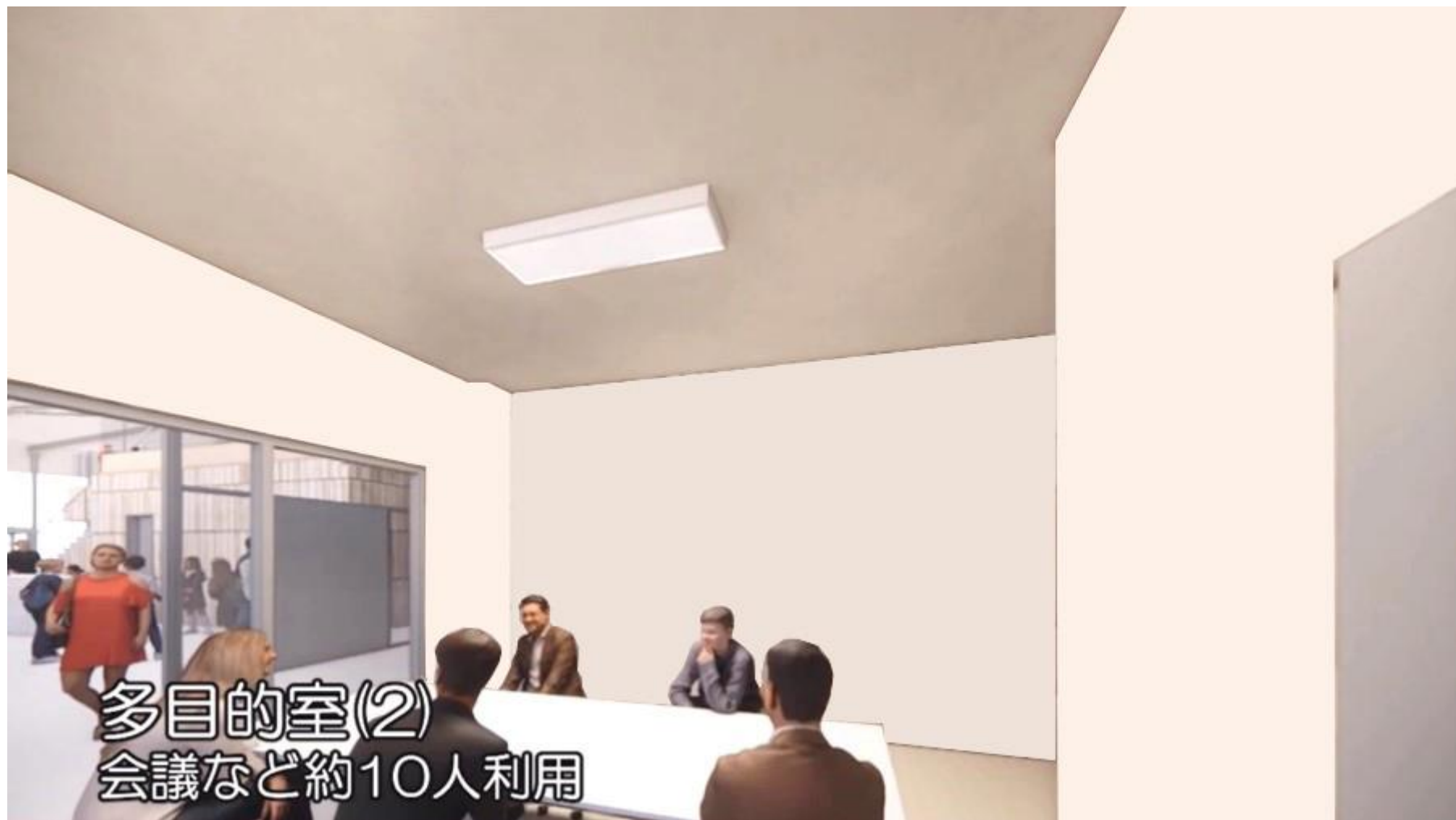


# 活動室 (スタジオ)





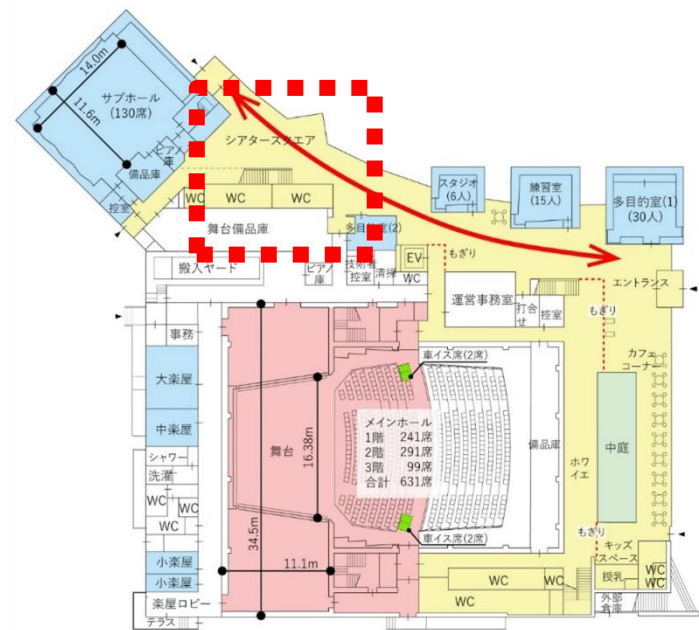
# 活動室 (多目的室 2)



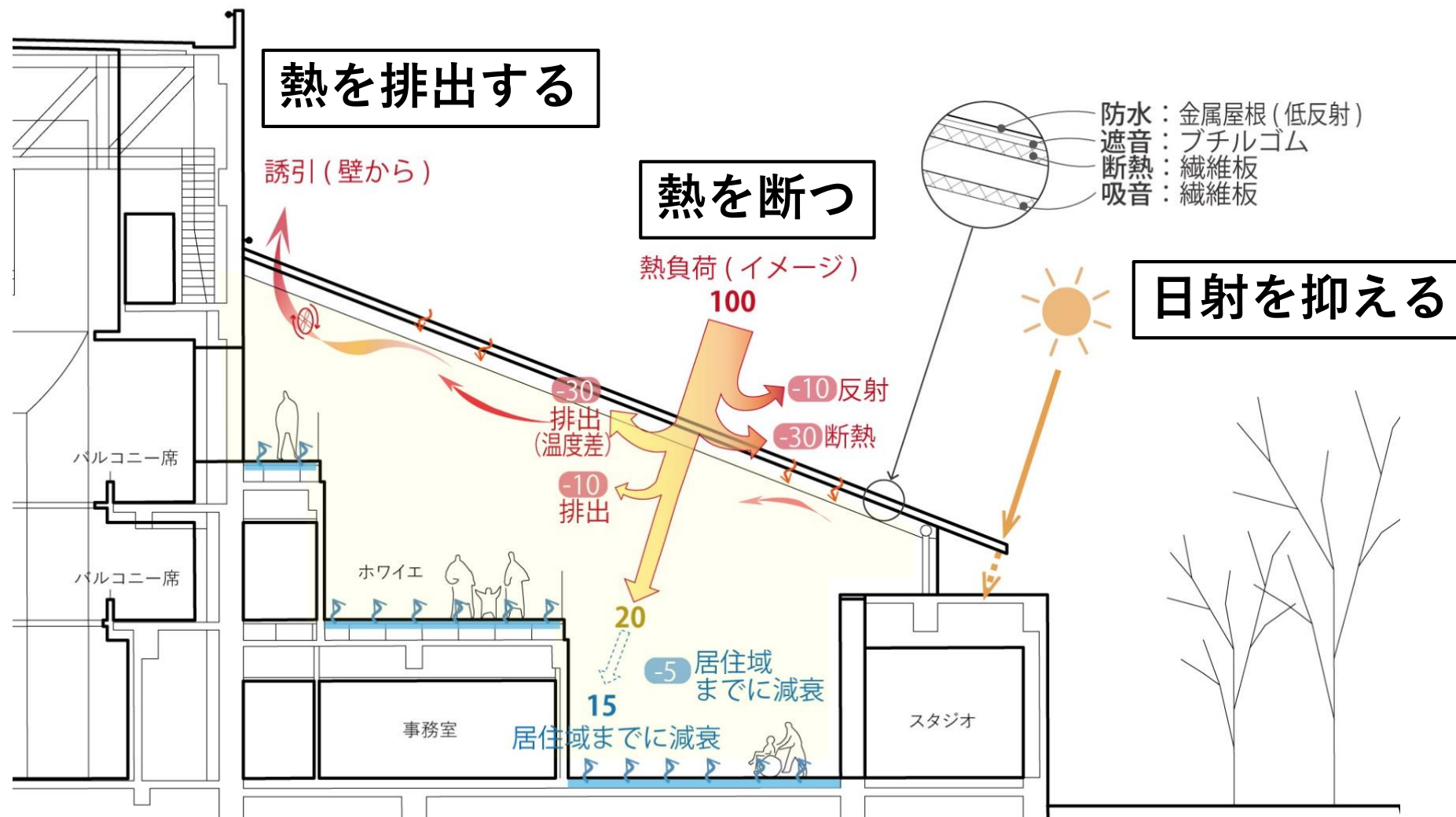
# シアタースクエア



おおず回廊につながる段々状のスペース。居場所



# 環境負荷低減計画 (ZEB)



快適な室内環境をつくり、エネルギー消費も50%以上削減